

女性の相談窓口を設置し、保健師がサポート

早くから働きやすい職場環境づくりに力を入れてきた株式会社NS・コンピュータサービスでは、新潟県が推進する「イクメン応援プラス認定（現在はパパ・ママ子育て応援プラス認定）」を受け、男性の育児参加をすすめています。

同社では男性社員の約5割が育児休暇制度を利用、新潟県全体の平均を底上げしてくれているのではないのでしょうか。また、外国人や女性SEの雇用にも積極的に取り組み、国籍や性別に関わらず活躍できる環境が整っているのも同社の魅力です。

誰もが健やかに仕事を続けられるように、健康

面からアプローチしヘルスリテラシーの向上を実践している保健師の石田さんも輝く女性社員のひとり。男性の上司には相談しにくい女性ならではの妊娠、出産、育児、生理や更年期の相談窓口となり、eラーニングによる講習会を主催するなどライフステージに合わせたサポートを行っています。会社として不妊治療や更年期のための特別休暇制度も整えたということで、活用推進によって、ますます活躍が期待されています。

社員の健康維持が会社の成長につながるという会社方針のもと、さらに働きやすい環境づくりが活発に進められています。

休暇前の仕事の引継ぎや復帰後の業務調整など、人事や上司・先輩のサポートのおかげでスムーズに取得できました。妊娠期間を経て少しずつ母親になる女性と違って、子どもが生まれてやっと父親になったと感じるのが男性なので、じっくり自分と子どもに向き合う時間を経験できて良かったです。



取材協力：木村 朋也様（エンベデッド本部）／石田 加奈子様（保健師）

(株)NS・
コンピュータサービス

会社 HP は
こちらから

